

お口の健康情報室

今回は、口の中にできる悪性腫瘍である「口腔がん」についてお話しします。

口腔がんには、舌にできる舌がん、歯ぐきにできる歯肉がん、舌の裏と下あごの間にある口腔底がんなどがあります。その中でも日本人に最も多いのは舌がんで、口腔がん全体の55%を占めています。

口腔がんは、男性の発生率が女性の約2倍に上ります。

口腔がん ケアで予防

60歳から70歳代に多く発生し、罹患率や死亡率は年々増加傾向にあります。

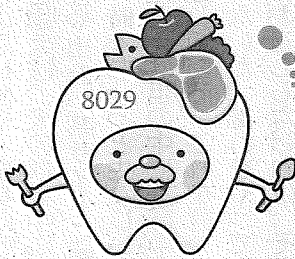
過度の飲酒や喫煙などの生活習慣のほか、合わない入れ歯や放置した虫歯による粘膜の損傷、口内の不衛生なども原因になるとされています。生活習慣を改善し、正しい口腔ケアを行うことが予防につながります。

口腔は呼吸や食事、発声などの重要な働きを持つ器官です。口腔がんになると、食事をしたり、話したりする際に支障が出るなど、生活の質が低下します。

初期には痛みなどの自覚症状がほとんどないため、気づ

かないうちに進行していることが珍しくありません。痛みがほとんどなくて、治りにくい口内炎ができた場合には、歯科医院や耳鼻咽喉科などの医療機関を受診することをお勧めします。

(千葉県歯科医師会)



「8029 運動」PRキ
ャラクター もぐい